

## 一般質問

# 「市政ここが聞きたい」



議会動画配信

3月11日(木)

### 次期市長選に向けた市長の考えは！

山口 弘展 (自民市政会)

①次期市長選へ向けた市長の考えは②現時点で後継者はいるのか③次期市長に託したいことは④市長の思いを継承してくれる候補者が現れば応援することはあるのか⑤任期まであと半年、市政が不安定とならぬよう最後まで職務を全うすべきと考えるが、見解は。

**答弁** ①やり残した部分は次の方に引き継ぎ、今回限りで引かせていただくという思いである②今のところいない③1つ目に排水対策、水害について、2つ目にバイオマス関係、3つ目に発達障がい関係、4つ目にマイクロソフト社との連携である④基本的に引く者が後に縛りをかけるべきではないという思いを持っており、今のところそういう考えはない⑤気が緩み、だらけてしまうようなことになると次の方に対して失礼になるので、空白を作るのがないよう、精いっぱい尽くしたい。



### かわそえギャラリーの思いを大切に

白倉 和子 (さが未来)

合併後の平成22年に開設された「かわそえ佐賀田園の郷ギャラリー」は支所の建て替えと同時に無くすとのことだが、一堂に集まった作品を生かしきれないのは佐賀の文化振興の観点からも禍根を残す。①ギャラリーの評価は②存続要望を受けての感想と対応策は。

**答弁** ①川副町ゆかりの画家の先生方の作品鑑賞や市民の作品発表の場として活用され、気軽に文化芸術に触れる場を提供してきたと認識している②要望書にはギャラリーの存続を強く願う熱い思いを感じた。作品を一堂に展示できる場所はまだ見つかっていないが、先生方の意向を確認しながら可能な限り市有施設への展示ができる検討を進めたい。



### 人口減少対策の更なる推進を！

久米 勝也 (ネットワーク佐賀)

新型コロナウイルス感染症拡大でリモートワークやテレワークが急速に普及し、地方への関心が高まる中で、本市もこれを移住促進の契機と捉え、今後のまちづくりにおいて移住・定住政策及び空き家バンク制度の推進を強化すべきと思うが、今後の取り組みは。

**答弁** 社会情勢の変化や、働き方、暮らし方に対する人々の意識の変化は、仕事や人を呼び込むチャンスと捉えており、佐賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略を見直し、移住・定住策の取り組みを強化していく。雇用創出、子育て支援、良好な住環境の確保、公共交通の充実、移住プロモーション動画による広報など全庁を挙げて実施し、また、中山間地域においては、地域自らが将来を見据えた取り組みを持続できるよう後押ししていきたい。



3月12日（金）

若年層の投票率

向上の実現を!!



永瀬 史孝（自民政新会）

啓発活動について問う①市のホームページに選挙の特設サイトを設置する考えは②SNSの活用は③ユーチューブの活用は④動画コンクルの実施は⑤選挙公報PR大使の導入は⑥民間事業者・飲食業者と協力し、選挙割の取り組みを導入してはどうか。

答弁 現行のホームページでの情報発信を分かりやすく、効果的に行っていくとともに、特設サイトの設置に向けた検討を進めたい②他市の活用事例を参考に検討したい③次の市長選挙・市議会議員選挙での導入に向けて準備を進めたい④若年層対象にコンクールや動画作品の募集、企画への参加について検討したい⑤一定の効果も見込まれるため、今後検討したい⑥サービスの享受を目的に投票をするこ

とには違和感があり、主体的に取り組むことは難しい。◆その他◆公共施設のトイレの在り方



市役所SLに

「無限」プレートを!!



御厨 洋行（市政未来）

市役所SLに、「劇場版『鬼滅の刃』無限列車編」の人気を受けて、「無限」と書いたプレートを取り付けて欲しいという要望が市に寄せられている①問題や課題は②新たにアニメやキャラクターとのコラボは考えられないか。

答弁 ①著作権などに相応の費用がかかる一方で、作品の舞台や原作者が佐賀市とゆかりがなく、佐賀市の宣伝やイメージアップにはつながりにくい。また、SL自体が佐賀市に所有権がなく、車両貸借の契約内容から、新たにプレートの設置が難しいことが挙げられる②経済効果に つなげるためには、作品をきっかけとして佐賀に来てもらうことが重要であるため、佐賀にゆかりのある作品など、観光振興や経済効果につながる

と判断されるコラボは今後活用したい。◆その他◆公園整備について



ゲーム障がいと

eスポーツの関連は



江頭 弘美（自民さが）

国体の併設イベント、専門学校の設立、高校でのeスポーツ部の設立、そしてまちおこし等、eスポーツを巡る状況は大きく変わろうとしている。反面、子どもたちのゲーム依存症につながるなどの懸念もある。eスポーツとゲーム障がいの関連性をどう考えるか。

答弁 eスポーツは一般的に認知され人気が出てきている一方で、ゲーム依存を危惧し病気として定義する動きもある。eスポーツとゲーム障がいの直接的な関連は明言できないが、長時間のゲーム練習がゲーム障がいを引き起こす可能性は否定できない。将来なりたい職業にプロのeスポーツプレイヤーが上がる

時世になったことを思えば、ゲーム依存にならないよう、学校や家庭の中で健全な心身を育み、将来の夢や目標に向け努力してもらいたいと考える。◆その他◆発達障がい児対策について



売茶翁を積極的に

PRせよ!



福井 章司（自民政新会）

①売茶翁の功績や文化的資産をどう認識しているか②NHKドラマで売茶翁を演じた石橋蓮司氏との対談企画を行うなど売茶翁のPRを行うべきでは③県も「伊藤若冲と売茶翁」の開催を企画中と聞か、市の協力は④売茶翁を市の観光施策にどう生かすか。

答弁 ①煎茶を世に広めた売茶翁の功績を多くの方に知っていただき本市を訪れていただくよう、顕彰会と連携し官民協働で取り組んでいる②これまで取り組んできた顕彰活動や売茶翁に関するイベントのほか、顕彰会などと相談し効果的なPRや活用を検討したい③県が開催を検討中の展覧会と連携したい④日本遺産に認定された長崎街道を活用し、お茶とお菓子の組合せを効果的に広報するなど売茶翁をより顕在化する企画を考えていきたい。

◆その他◆人事政策について/理科教育について



若冲が描いた売茶翁（富遊外売茶翁顕彰会提供）

## 内水ハザードマップ 精度向上を

山下 伸二(ネットワーク佐賀)



昨年11月に内水ハザードマップが更新されたが①更新に至った理由は②令和元年8月豪雨の実績が反映されていない所があるとの指摘があるがいかか③今後も内水ハザードマップの更新が想定されるが、精度を高める取り組みをどのように行っていくのか。

**答弁** ①令和元年8月の豪雨が従来のハザードマップの対象降雨を上回ったことや、排水対策による雨水ポンプ場や雨水幹線などの施設整備が進み、従来のハザードマップが現状にそぐわない状況となったため改訂した②浸水が広範囲に及んだため、一部の詳細な浸水状況が把握できておらず、全てを反映できていないわけではない③リアルタイムに浸水状況を把握するため、自動計測箇所を現在の13カ所から29カ所に増やし、精度向上を図ることとしている。



◆その他◆  
中心市街地の活性化について

## 適正な 人員確保を!

富永 明美(社会市民クラブ)



※4 エssenシャルワーカーとして任務に当たられる市職員であるが、その数は減少傾向にある。一方、多様化する住民ニーズ、自然災害、新型コロナウイルスなど、業務量は増加し人員体制を懸念する。良質なサービス提供の為に人員確保は重要だと思いが見解を。

**答弁** 市民ニーズの多様化、行政需要の増加への対応が必要のため、福祉や子育てなど必要な分野には適宜増員している。また、専門的な分野には専門知識や資格を持った会計年度任用職員の配置などにより対応している。コロナ禍で財政状況が厳しさを増し、職員の大幅増員は難しいため、今後増員が必要な分野に人的資源を投入できるよう、AIやRPA<sup>※5</sup>を活用した事務の効率化や事務事業のスクラップ・アンド・ビルドにより必要な人員の確保に努めている。

◆その他◆  
子どもの遊び場について/情報モラル教育について



## アフターコロナの 図書館は

池田 正弘(公明党)



コロナ禍で人と接することに敏感になってきている人に対し、新しい生活様式を踏まえて図書館の在り方も考える時期に来ていないか。非接触型、非対面型、非来訪型の考えを取り入れた、将来を見据えた対応を考えるべきと思うが、市の見解を伺う。

**答弁** コロナ禍において難しくなっている外出先での長時間の滞在や人と人の交流が以前から公共図書館が担ってきた役割でもあり、決してなくしてはならない部分だと思っている。アフターコロナの世界の変化を見据えながら図書館の機能を損なうことなくサービスを維持していくことが大切だと考えており、従来の来館型サービスだけではなく、来館せず本を借りることができるといった非来館型サービスについても、今後研究をしていくことは重要だと認識している。



## 小水力発電の 普及促進策を問う

松永 幹哉(自民さが)



吉野ヶ里町松隈地区で、出力30kwの小水力発電所が昨年11月に稼働された。地域で運営を行い、売電収入で中山間地域の活性化事業が展開されている。県は松隈地区の事業を「佐賀モデル」として、県内外へ展開を図る考えである。市の小水力発電の普及策を問う。

**答弁** 小水力発電は、水利権の手続きが煩雑で場所によりコストパフォーマンスに差が出る懸念があるが、発電に二酸化炭素を発生しないクリーンエネルギーで、時間や天候に左右されず安定した発電が可能である。国や市の補助制度を必要な地域に案内し、民間企業とのマッチング等で地域における小水力発電を推進したい。また、中山間地域の地域振興の観点からは、水路の管理等の収益を活用することで、地域コミュニティの活性化や拠点づくりの手段となると考えている。

◆その他◆  
行政改革



松隈小水力発電所

※4 エssenシャルワーカー…人々が日常生活を送るために欠かせない仕事を担う人。例えば、医療・福祉、小売、物流、などの業種の労働者。  
※5 RPA…人が行う定型作業をソフトウェアにより自動化すること。

被災者支援のため

新たなサービスを



村岡 卓（公明党）

マイナンバーを活用した「<sup>※6</sup>ぴったりサービス」には、子育て分野、介護保険分野のほか被災者支援に関するサービスを設定することができる①現在の市の状況は②解消すべき課題は何か③導入に向けて今後どのように取り組んでいくのか。

**答弁** ①被災者支援サービスの導入には至っていない②本市では罹災証明書と被災届出証明書の交付申請書を一本の様式としているため、どちらの申請であるかの確認が生じることや、直接窓口で確認したほうが効率的である項目が多いこと、また、災害援護資金の貸付申請は記入項目が多く、申請者の手間が非常にかかることなどが課題である③国の動向や他市の活用状況などの情報を収集し、関係課とも情報共有を行いながら、実現に向けた検討を行っている。◆**その他**◆国際交流について



インクルーシブ

教育の充実を!!



松永 憲明（社会市民クラブ）

①生活指導員や支援員については、学校の実情を十分把握し、要望に沿うような配置をすべきではないか②介助員や看護士の配置が必要な子どももいて、国の補助もある中、どうしていくのか③地域人材の活用や地域連携（12月答弁）はどのように進めるのか。

**答弁** ①生活指導員、特別支援学級の支援員は、教育予算が厳しい中、前年度と同じ人員数を配置しているが、現状での対応が大変厳しい状況になっている②他市の状況や派遣していただく看護士の状況等を踏まえた検討が必要③非常勤講師の活用や指導教諭などを中心とした地域への呼びかけを考えている。また、コミュニティ・スクールが広がれば取り組みが市全体に広がるので、校長会等で積極的に呼びかけていきたい。◆**その他**◆教職員の働き方改革について



東与賀町・川副町の

上水道一元化は



重松 徹（自民市政会）

人口減少社会において、国は水道法改正によって、水道基盤強化を図るため、広域連携を積極的に推進している。そうした中、西佐賀水道企業団は統合した。広域連携の中で東与賀町・川副町の上水道の一元化について、市長はどのように考えているのか。

**答弁** 水道行政を行う場合、一つの水道事業で行うことが望ましい姿だと思うが、本市は様々な水道事業体を持つ自治体が合併しており、料金などそれぞれ違う部分がある。西佐賀水道企業団の水道事業下に入った久保田町は、今回本市の水道事業の中に入ったが、東与賀町、川副町については、佐賀東部水道企業団への影響を十分議論し、条件整備ができれば一元化ということもあると思うが、まずは前段の協議が必要だと考えている。◆**その他**◆公用車へのドライブレコーダーの搭載について



市有林の

管理はどうする？



重田 音彦（自民市政会）

佐賀市の市有林は1,848haあり、その多くは自治会との分収林である。分収林は土地と苗を市が提供し、自治会が撫育を行う仕組みで契約期間は40から50年だが、その多くが期限を過ぎ伐採が行われないうままになっている。契約の見直しを行うべきではないか。

**答弁** 富士地区では国土調査前に契約を締結しており、分収造林地の地番を国土調査後の地番に修正中だが、事務作業が進んでおらず大変申し訳なく思っている。また、自治体の管理方法や考え方に違いがあり、分収造林地の計画的な森林整備の方針を示すことができていない。まずは自治会に意向確認の実態調査を実施し、できる限り早い時期に整備方針を示したい。◆**その他**◆過疎計画／太陽光発電のため／の山林開発／中学校の部活動



※6 ぴったりサービス…政府が運営するオンラインサービス「マイナポータル」内で地方公共団体が提供する行政サービスの検索や、オンライン申請ができるサービスの総称